

## 新聞 毎日

## 「新国立」建設費削減

## 下村担当相「周辺を縮小」

参院予算委員会は23日、安倍晋三首相と全閣僚が出席し基本的質疑を行った。

下村博文五輪担当相は、2020年の東京五輪・パラリンピック主会場となる新国立競技場(東京都新宿区)の建設について「膨大な予算がかかる。縮小する方向で検討する」と述べ、計画の見直しを表明。そのうえで「デザインは生かす。規模は国際オリンピック委員

会(IOC)基準に合わせてるが、周辺を縮小する方向で考えたい」と説明した。

同競技場は流線型のアーチで開閉式の屋根を支えるデザインを採用し、延べ床面積は12年ロンドン五輪の主会場の3倍近い約29万平方メートル。総工費は当初1300億円を見込んだが、採用したデザインを忠実に実現すると最大3000億円に上る見直しになっていた。